

## 近畿圏大深度地下使用協議会概要

日 時：平成13年5月18日（金）15：00～  
場 所：KKRホテル大阪・3F 銀河東の間  
出席者：別紙1参照  
議 事：別紙2参照

- 主なやりとりは以下のとおり -

### 【大深度地下利用の現状・見込み】

- ・下水道、地下河川は事業中のものがある。道路については、山岳トンネルしか事例がないが、地下利用という観点では、地下街と一体的に地下駐車場を整備したりしている。今後都市機能の充実という観点から地下利用を進めていきたい（藤芳地方整備局長）。
- ・現在一番深いもので、JR東西線が淀川の下で38メートル。事業中の路線も30メートル程度。ただ、今後高速鉄道を大阪に乗り入れるような場合には、大深度地下の利用がフィージビリティがあるのではないか（金澤運輸局長）。
- ・神戸の上水道で大深度に相当する事例がある。

### 【今後の進め方】

- ・情報交換を密にするという観点から、政令指定市（大阪市、京都市、神戸市）もオブザーバーで参加してもらいたい。
- ・消防についても、具体的な案件が出てきた場合には、事業区域に係る自治体消防のメンバーを参画させていただきたい。
- ・大深度地下というと対象が狭い、近畿の地下利用全体の話はこの場を使って考えていきたい。

### 【その他】

- ・都市計画決定の手續との関係を明確にされたい。  
→ **事前の事業間調整の手續きと都市計画決定の手續きがパラレルになる。**  
**協議会にはどんな情報でもいいので、出せる段階で可能な限り、早めに情報提供してほしい。大深度法12条に基づく事業概要書の提出はルート案が固まってからでよい。**  
**大深度地下の認可申請は都市計画決定後の事業実施の段階になる。**